

施策評価調書

人口減少下においても充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営の実現を目指します。

4点: 達成率 $\geq 100\%$ 3点: $100\% > \text{達成率} \geq 90\%$ 2点: $90\% > \text{達成率} \geq 80\%$
1点: $80\% > \text{達成率} \geq 70\%$ 0点: $70\% > \text{達成率}$ n: 実績値が未判明

a相当:平均点が3.6点以上 b相当:平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当:平均点が2.8点以上3.2点未満
d相当:平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当:平均点が2.4点未満

- ・ 県南地区（４市２町）の汚泥を集約処理・資源化する広域汚泥資源化施設が、令和７年４月に完成し、供用を開始した。広域化・共同化により県・市町村の維持管理費の削減につなげた。

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
b	成果指標の達成率を基にした定量的評価は3.33で「b相当」であることから、総合評価は「b」とする。
	【定性的評価として考慮した点】 .

4 県民意識調査の結果

質問文		デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。				
調査年度		2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度						
満足度	肯定的意見	10. 2%	9. 1%	10. 9%		+1. 8
	十分 (5点)	0. 9%	0. 7%	1. 6%		+0. 9
	おおむね十分 (4点)	9. 3%	8. 4%	9. 3%		+0. 9
	ふつう (3点)	44. 3%	39. 4%	43. 1%		+3. 7
	否定的意見	29. 5%	37. 7%	31. 3%		△6. 4
	やや不十分 (2点)	18. 0%	22. 7%	19. 7%		△3. 0
	不十分 (1点)	11. 5%	15. 0%	11. 6%		△3. 4
	わからない・無回答	16. 1%	13. 8%	14. 7%		+0. 9
	平均点	2. 64	2. 50	2. 64		+0. 14

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の 方向性	課題	今後の対応方針
①	○ オープンデータ化した県有データ数は目標を上回ったものの、二次利用可能なデータが少ない。 ○ オンライン申請の活用に消極的な、デジタルが苦手な方や、デジタル化により不便を感じている方等がいる。	○ データ分析能力向上研修を通じオープンデータの有用性を啓発するとともに、データ作成時のノウハウを提供することで、二次利用可能なオープンデータの拡充につなげていく。 ○ デジタル活用に消極的な方等がオンライン申請を活用しやすくなるよう、利便性の周知や操作性の向上を図る。
②	○ 行政コスト削減に不可欠な県と市町村、市町村間の協働・連携による新たな取組の創出が難しくなっている。 ○ 県内における生産年齢人口の著しい減少に伴い、生活排水処理事業の運営において、自治体・民間ともに担い手不足が懸念される。	○ 秋田県・市町村協働政策会議や市町村訪問等を通じて、協働・連携による取組の掘り起こしを行うとともに、費用対効果や先進事例、市町村ニーズ等を踏まえ、新たな取組を継続的に模索していく。 ○ 県と市町村で構成される生活排水処理事業連絡会を活用し、更なる包括委託の導入や汚泥処理の広域化・共同化、DXの可能性等を検討し、県全体の生産性向上（効率化）の推進を図る。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「b」をもって妥当とする。
